

牛津出張所では堤防や排水樋管などの河川の施設の機能を維持して、地域の安全を確保するために必要な補修作業を適時実施しています。作業にあたって、安全な施工を心がけますので、引き続き地域のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

■ 樋管の補修

排水樋管門柱部



排水樋管函体内部



設置後40年を超える河川の施設の割合が、全国で5年後には全体の約60%に達し、老朽化が加速度的に進展することが懸念されています。

(場所: 白石町北瀬排水樋管)

■ 樹木の伐開

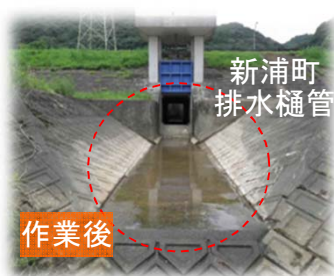
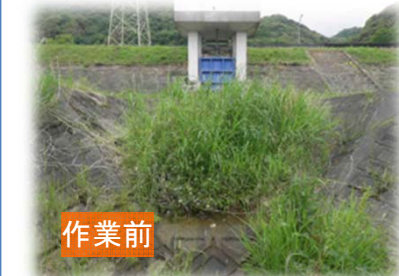
河川内の樹木は、洪水時に折れるなどして、橋などにひっかり洪水を塞ぎ止め、堤防から水をあふれるさせる恐れがあるため、支障の大きな樹木から順次伐採を行っています。



下釣橋

■ 堆積土砂の撤去

排水樋管の前面に土砂が堆積して樋管から排水し難くなってしまうと、住宅側の水かさが増し、水があふれるおそれがあるため、土砂の撤去や樋管内の清掃を行っています。



新浦町排水樋管

国土交通省
武雄河川事務所
牛津出張所

川ら版

発行所
武雄河川事務所
牛津出張所
小城市牛津町上砥川47-9
(〒849-0305)
TEL(0952)66-0315
FAX(0952)66-0326
ホームページアドレス
<http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>

3月1日
第 9 号

紙面の問い合わせ
上記発行所へ

河川巡視について

牛津出張所が管理する六角川と牛津川では河川の状況を把握するために定期的に河川の巡視を行っています。

河川の巡視は、堤防などの異常箇所の発見や河川の利用状況、自然環境の情報記録、不法行為や迷惑行為の発見・改善のために実施するものです。特に、ゴミの投棄などの不法行為を早期に発見し、改善することは、河川を管理するうえで重要です。



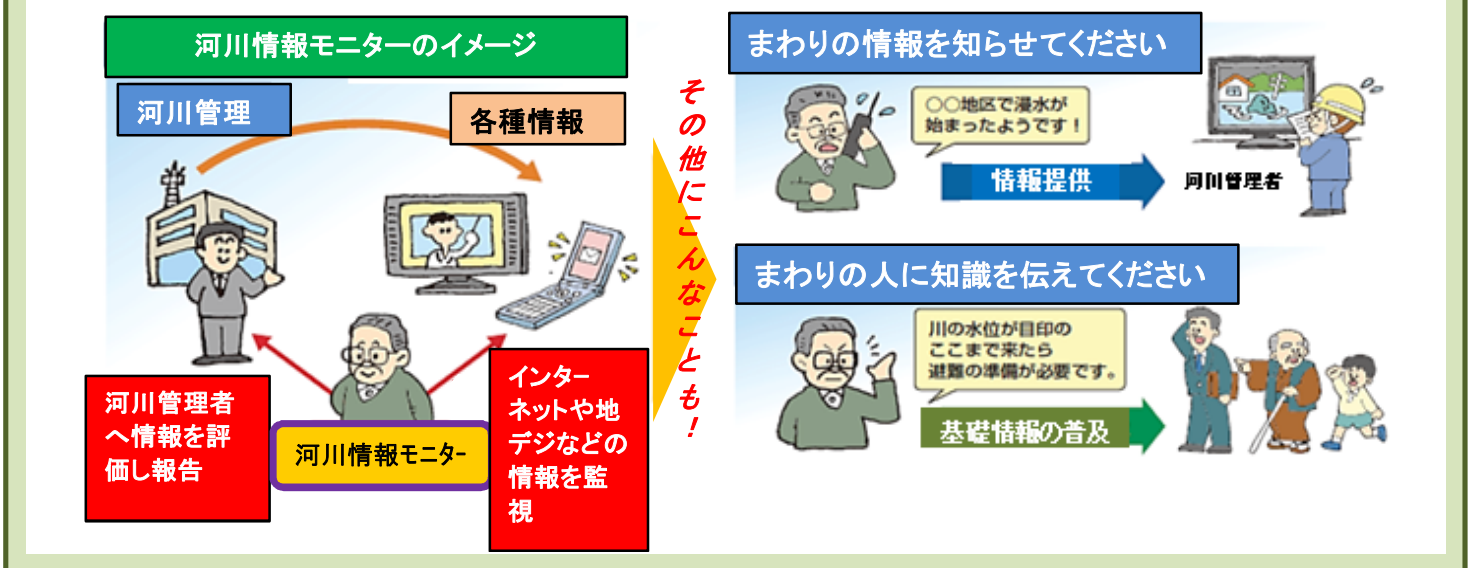
河川情報モニター・ダム管理モニターについて

武雄河川事務所では、インターネットや携帯電話、地デジ放送、ラジオ、新聞などを通じ、洪水時などに河川の水位や雨量情報、被害情報などを提供しています。洪水時の防災情報は、地域住民の方々に早く・正しく・分かりやすく伝えること、また、日頃からより多くの方に知っていただき、避難などの防災対応等に活用していただくことが重要です。そのため、洪水時の防災情報が住民目線で早く・正しく・分かりやすく伝わっているかをチェックしていただくとともに、情報の普及活動をしていただく「河川情報モニター」を募集いたします。



応募方法等は、武雄河川事務所ホームページに4月頃に掲載する予定です。

『皆様方の応募をお待ちしています。』 武雄河川事務所HPアドレス <http://www.csr.mlit.go.jp/takeo/>



堤防を車両で通行する場合は、転落にご注意ください！

堤防は幅員が狭く、曲がりの大きい箇所もあります、離合の際や、スピードの出し過ぎにより、堤防から転落する事故が発生しています。堤防からの転落は高低差が大きいため大事故、大けがにつながる危険性があります。
『堤防を通行する場合には低速走行を行い、転落などに注意してください！』



堤防から転落した車両

【こんなときはどうするの？】

Q 堤防を一般車両（車、バイク）が走行しており、危険なので注意してもらいたい。

A 堤防道路は、河川を管理するための通路と、道路法上の道路（国・県・市・町道）の2種類があります。道路法上の道路は、各道路管理者（国・県・市・町）が対処します。河川を管理するための通路は、あくまでも自由使用で、通行される方が法令やマナーを守っていただくしかありません。今後とも、危険な走行を発見した場合は注意していきます。あまりにも通行マナーが悪い場合には、危険防止のため車両進入防止等の対策を検討しますので、牛津出張所までご相談ください。